

【表紙】

【提出書類】	訂正有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	平成28年8月16日提出
【発行者名】	野村アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	C E O兼執行役社長 渡邊 国夫
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋一丁目12番1号
【事務連絡者氏名】	松井 秀仁
【電話番号】	03-3241-9511
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券に係るファンドの名称】	グローバル・バリュー・オープン
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券の金額】	継続募集額(平成28年2月24日から平成29年2月21日まで) 1兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

本日、有価証券報告書を提出いたしましたので、平成28年 2月23日付をもって提出した有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）の関係情報を更新するため、また、記載事項の一部に訂正事項がありますのでこれを訂正するため本訂正届出書を提出するものです。

2【訂正の内容】

原届出書の下記の記載事項につきましては内容を更新・訂正いたします。

第二部ファンド情報 第1ファンドの状況 5運用状況

第二部ファンド情報 第3ファンドの経理状況

また、それ以外の訂正事項につきましては、＜訂正前＞および＜訂正後＞に記載している下線部__は訂正部分を示し、＜更新後＞の記載事項は原届出書の更新後の内容を示します。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1 ファンドの性格

(3) ファンドの仕組み

< 更新後 >

委託会社の概況(平成28年6月末現在)

・名称

野村アセットマネジメント株式会社

・本店の所在の場所

東京都中央区日本橋一丁目12番1号

・資本金の額

17,180百万円

・会社の沿革

昭和34年(1959年)12月1日 野村証券投資信託委託株式会社として設立

平成9年(1997年)10月1日 投資顧問会社である野村投資顧問株式会社と合併して野村アセット・マネジメント投信株式会社に商号を変更

平成12年(2000年)11月1日 野村アセットマネジメント株式会社に商号を変更

平成15年(2003年)6月27日 委員会等設置会社へ移行

・大株主の状況

名称	住所	所有株式数	比率
野村ホールディングス株式会社	東京都中央区日本橋一丁目9番1号	5,150,693株	100%

3 投資リスク

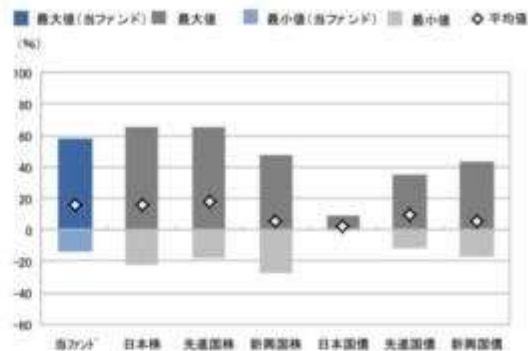
< 更新後 >

リスクの定量的比較

(2011年7月末～2016年6月末:月次)

〈ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移〉

〈ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較〉



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値(%)	57.7	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値(%)	△13.7	△22.0	△17.5	△27.4	0.4	△11.2	△17.4
平均値(%)	15.9	15.5	18.4	5.4	2.7	10.0	5.2

- ◆ 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2011年7月末を10,000として指数化しております。
- ◆ 年間騰落率は、2011年7月から2016年6月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

- ◆ 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ◆ 2011年7月から2016年6月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- ◆ 決算日に対応した数値とは異なります。
- ◆ 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。

＜代表的な資産クラスの指数＞

- 日本株：東証株価指数(TOPIX)(配当込み)
- 先進国株：MSCI-KOKUSAI指数(配当込み、円ベース)
- 新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)
- 日本国債：NOMURA-BPI国債
- 先進国債：シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)
- 新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

■ 代表的な資産クラスの指数の著作権等について ■

- 東証株価指数(TOPIX)(配当込み)・・・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、株式会社東京証券取引所(株東京証券取引所)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、株東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、株東京証券取引所により提供、保証又は販売されるものではなく、株東京証券取引所は、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。
- MSCI-KOKUSAI指数(配当込み、円ベース)・・・MSCI-KOKUSAI指数(配当込み、円ベース)・・・MSCI-KOKUSAI指数(配当込み、円ベース)、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- NOMURA-BPI国債・・・NOMURA-BPI国債の知的財産権は、野村證券株式会社(以下「野村証券」)に帰属します。なお、野村証券株式会社は、NOMURA-BPI国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI国債を用いて行われる野村アセットマネジメント株式会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。
- シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)・・・「シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)」は、Citigroup Index LLCが開発した日本を除く世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスで、Citigroup Index LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利は、Citigroup Index LLCが有しています。
- JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)・・・「JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)」(ここでは「指数」と呼びます)についてはここに提供された情報は、指数のレベルも含め、但しそれに限定することなく、情報としてのみ使用されるものであり、金融商品の売買を勧誘、何らかの売買の公式なコンファIRMーション、或いは指数に関連する何らかの商品の価値や値段を決めるものでもありません。また、投資戦略や税金における会計アドバイスは法的に推奨するものでもありません。ここに含まれる市場価格、データ、その他の情報は確かなものと考えられますが、JPMorgan Chase & Co. 及びその子会社(以下、「JPM」)がその完全性や正確性を保証するものではありません。含まれる情報は通知なしに変更されることがあります。過去のパフォーマンスは将来のリターンを示唆するものではありません。本資料に含まれる発行体の金融商品について、JPMやその従業員がロング・ショート両方を含めてポジションを持ったり、売買を行ったり、またはマーケットメイクを行ったりすることがあり、また、発行体の引受人、プレースメント・エージェンシー、アドバイザー、または買主になっている可能性もあります。米国のJP Morgan Securities LLC(ここでは「JPMSLLC」と呼びます)「指数スポンサー」は、指数に関する証券、金融商品または取引(ここでは「プロダクト」と呼びます)についての奨励、保障または販売促進を行いません。証券或いは金融商品全般、或いは特にプロダクトへの投資の推奨について、また金融市場における投資機会を指数に連動させる或いはそれを目的とする推奨の可否について、指数スポンサーは一切の表明または保証、或いは伝達または示唆を行なうものではありません。指数スポンサーはプロダクトについての管理、マーケティング、トレーディングに関する義務または法的責任を負いません。指数は信用できると考えられる情報によって算出されていますが、その完全性や正確性、また指数に付随する情報について保証するものではありません。指数は指数スポンサーが保有する財産であり、その財産権はすべて指数スポンサーに帰属します。JPMSLLCはNASDAQ, NYSE, SIPCの会員です。JPMorganはJP Morgan Chase Bank, NA, JPSC J.P. Morgan Securities PLC, またはその関係会社が投資銀行業務を行う際に使用する名称です。

(出所：株式会社野村総合研究所、Citigroup Index LLC 他)

4 手数料等及び税金

(5) 課税上の取扱い

<更新後>

課税上は、株式投資信託として取扱われます。

個人、法人別の課税について

個人の投資家に対する課税

<収益分配金に対する課税>

分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については、20.315%(国税(所得税及び復興特別所得税)15.315%および地方税5%)の税率による源泉徴収が行なわれます。なお、確定申告により、申告分離課税もしくは総合課税のいずれかを選択することもできます。

なお、配当控除は適用されません。

<換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対する課税>

換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)については、申告分離課税により20.315%(国税15.315%および地方税5%)の税率が適用され、源泉徴収口座を選択した場合は20.315%の税率により源泉徴収が行なわれます。

損益通算について

以下の所得間で損益通算が可能です。上場株式等の配当所得については申告分離課税を選択したものに限りです。

《利子所得》	《上場株式等に係る譲渡所得等》 ^(注2)	《配当所得》
<ul style="list-style-type: none"> ・特定公社債^(注1)の利子 ・公募公社債投資信託の収益分配金 	特定公社債、公募公社債投資信託、上場株式、公募株式投資信託の <ul style="list-style-type: none"> ・譲渡益 ・譲渡損 	<ul style="list-style-type: none"> ・上場株式の配当 ・公募株式投資信託の収益分配金

(注1)「特定公社債」とは、国債、地方債、外国国債、公募公社債、上場公社債、平成27年12月31日以前に発行された公社債（同族会社が発行した社債を除きます。）などの一定の公社債をいいます。

(注2)株式等に係る譲渡所得等について、上場株式等に係る譲渡所得等とそれ以外の株式等に係る譲渡所得等に区分し、別々の分離課税制度とすることとされ、原則として、これら相互の通算等ができないこととされました。

上場株式、公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」の適用対象です。NISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が一定期間非課税となります。他の口座で生じた配当所得や譲渡所得との損益通算はできません。販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

法人の投資家に対する課税

分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに換金(解約)時および償還時の個別元本超過額については、15.315%(国税15.315%)の税率で源泉徴収が行なわれます。なお、地方税の源泉徴収はありません。

源泉税は所有期間に応じて法人税額から控除

税金の取扱いの詳細については税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

換金（解約）時および償還時の課税について

〔個人の投資家の場合〕

換金（解約）時および償還時の差益 については、譲渡所得とみなして課税が行われます。

換金（解約）時および償還時の価額から取得費（申込手数料（税込）を含む）を控除した利益を譲渡益として課税対象となります。

〔法人の投資家の場合〕

換金（解約）時および償還時の個別元本超過額が源泉徴収の対象（配当所得）となります。

なお、買取りによるご換金について、詳しくは販売会社にお問い合わせください。

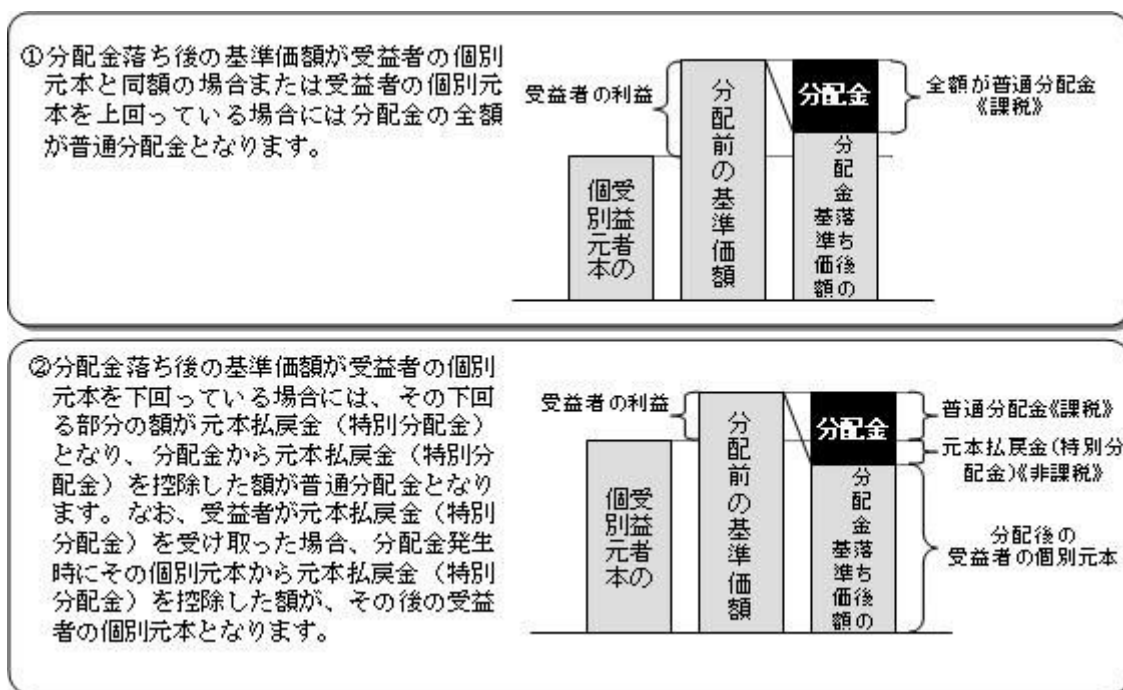
個別元本について

追加型投資信託を保有する受益者毎の取得元本をいいます。

受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合や受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合などには、当該受益者の個別元本が変わりますので、詳しくは販売会社へお問い合わせください。

分配金の課税について

分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分）があります。



上図はあくまでもイメージ図であり、個別元本や基準価額、分配金の各水準等を示唆するものではありません。

税法が改正された場合等は、上記「(5)課税上の取扱い」の内容（平成28年6月末現在）が変更になる場合があります。

5 運用状況

以下は平成28年 6月30日現在の運用状況であります。

また、投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

(1) 投資状況

グローバル・バリュー・オープン

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	日本	3,668,681,735	99.80
現金・預金・その他資産(負債控除後)		7,308,383	0.19
合計(純資産総額)		3,675,990,118	100.00

(参考) グローバル・バリュー・オープン マザーファンド

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
株式	日本	413,629,200	8.10
	アメリカ	3,059,105,544	59.95
	カナダ	127,265,133	2.49
	ドイツ	114,941,250	2.25
	イタリア	53,190,516	1.04
	フランス	50,654,500	0.99
	オランダ	58,415,195	1.14
	スペイン	29,161,814	0.57
	イギリス	554,289,523	10.86
	スイス	360,575,592	7.06
	オーストラリア	25,402,008	0.49
	香港	151,344,601	2.96
	台湾	47,429,444	0.92
	小計	5,045,404,320	98.89
現金・預金・その他資産(負債控除後)		56,583,112	1.10
合計(純資産総額)		5,101,987,432	100.00

(2) 投資資産

投資有価証券の主要銘柄

グローバル・バリュー・オープン

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	日本	親投資信託 受益証券	グローバル・バリュー・オープン マザーファンド	1,982,535,388	1.9967	3,958,711,461	1.8505	3,668,681,735	99.80

種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	99.80
合計	99.80

(参考) グローバル・バリュー・オープン マザーファンド

順位	国/ 地域	種類	銘柄名	業種	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	アメリカ	株式	JOHNSON & JOHNSON	医薬品	12,800	10,534.89	134,846,678	12,280.25	157,187,204	3.08
2	アメリカ	株式	3M CORP	コングロマリット	6,888	16,258.75	111,990,277	17,651.12	121,580,937	2.38
3	アメリカ	株式	EXXON MOBIL CORP	石油・ガス・消耗燃料	12,400	8,296.23	102,873,279	9,515.05	117,986,727	2.31
4	アメリカ	株式	AMGEN INC	バイオテクノロジー	7,500	16,643.74	124,828,067	15,446.79	115,850,932	2.27
5	アメリカ	株式	MICROSOFT CORP	ソフトウェア	22,200	5,549.93	123,208,586	5,201.07	115,463,785	2.26
6	アメリカ	株式	UNITEDHEALTH GROUP INC	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	7,892	11,766.72	92,863,028	14,460.91	114,125,527	2.23
7	アメリカ	株式	ABBVIE INC	バイオテクノロジー	16,300	6,163.96	100,472,562	6,360.86	103,682,134	2.03
8	スイス	株式	ROCHE HOLDINGS (GENUSSCHEINE)	医薬品	3,841	28,552.74	109,671,107	26,708.79	102,588,478	2.01
9	日本	株式	K D D I	情報・通信業	32,400	3,049.05	98,789,343	3,113.00	100,861,200	1.97
10	アメリカ	株式	COCA COLA CO	飲料	21,000	4,440.56	93,251,896	4,573.32	96,039,728	1.88
11	アメリカ	株式	ROSS STORES INC	専門小売り	16,600	5,428.74	90,117,245	5,739.29	95,272,226	1.86
12	香港	株式	HKT TRUST AND HKT LTD	各種電気通信サービス	637,000	128.88	82,101,146	148.51	94,602,144	1.85
13	スイス	株式	NOVARTIS-REG	医薬品	10,533	9,291.50	97,867,370	8,379.33	88,259,509	1.72
14	日本	株式	三菱電機	電気機器	70,000	1,184.21	82,895,141	1,208.00	84,560,000	1.65
15	アメリカ	株式	APPLE INC	コンピュータ・周辺機器	8,400	12,012.59	100,905,809	9,714.70	81,603,514	1.59
16	スイス	株式	NESTLE SA-REG	食品	10,090	7,979.30	80,511,236	7,853.98	79,246,683	1.55
17	アメリカ	株式	UNITED PARCEL SERVICE-CL B	航空貨物・物流サービス	7,166	10,667.20	76,441,182	10,943.44	78,420,758	1.53
18	イギリス	株式	ROTORK PLC	機械	258,945	249.25	64,542,516	302.84	78,419,183	1.53
19	アメリカ	株式	PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	タバコ	7,711	8,996.39	69,371,180	10,148.98	78,258,817	1.53
20	アメリカ	株式	S&P GLOBAL INC	各種金融サービス	7,100	9,966.83	70,764,518	10,908.46	77,450,066	1.51
21	アメリカ	株式	L BRANDS, INC	専門小売り	10,800	9,522.48	102,842,799	6,903.20	74,554,590	1.46
22	アメリカ	株式	US BANCORP	銀行	17,900	4,508.10	80,695,080	4,083.46	73,094,091	1.43
23	アメリカ	株式	ALTRIA GROUP INC	タバコ	10,417	5,943.05	61,908,778	6,980.38	72,714,674	1.42
24	アメリカ	株式	JPMORGAN CHASE & CO	銀行	11,500	6,811.87	78,336,526	6,298.09	72,428,058	1.41
25	アメリカ	株式	NORTHERN TRUST CORP	資本市場	10,700	7,671.35	82,083,466	6,716.93	71,871,212	1.40
26	スイス	株式	SYNGENTA AG-2ND LINE	化学	1,791	39,716.46	71,132,180	39,532.58	70,802,864	1.38
27	日本	株式	日本たばこ産業	食料品	17,200	4,388.42	75,480,838	4,103.00	70,571,600	1.38
28	イギリス	株式	BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	タバコ	10,812	5,395.91	58,340,621	6,496.96	70,245,190	1.37

29	日本	株式	大東建託	建設業	4,200	12,790.00	53,718,000	16,640.00	69,888,000	1.36
30	カナダ	株式	NATIONAL BANK OF CANADA	銀行	19,900	3,328.79	66,243,029	3,508.24	69,814,002	1.36

種類別及び業種別投資比率

種類	国内/国外	業種	投資比率(%)
株式	国内	建設業	1.36
		食料品	1.38
		化学	0.64
		電気機器	1.65
		情報・通信業	1.97
		小売業	1.07
	国外	エネルギー設備・サービス	0.92
		石油・ガス・消耗燃料	4.51
		化学	5.69
		航空宇宙・防衛	2.47
		電気設備	0.79
		コングロマリット	2.38
		機械	1.53
		商社・流通業	0.61
		航空貨物・物流サービス	1.53
		陸運・鉄道	1.13
		運送インフラ	0.99
		繊維・アパレル・贅沢品	0.17
		ホテル・レストラン・レジャー	1.64
		メディア	2.46
		専門小売り	3.99
		飲料	1.88
		食品	1.55
		タバコ	4.33
		家庭用品	0.59
		ヘルスケア機器・用品	2.09
		ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	2.93
		バイオテクノロジー	4.30
		医薬品	9.09
		銀行	5.34
		各種金融サービス	1.51
		保険	3.41
情報技術サービス	2.56		
ソフトウェア	4.47		
通信機器	0.51		
コンピュータ・周辺機器	1.59		
電子装置・機器・部品	0.92		

	半導体・半導体製造装置	2.33
	各種電気通信サービス	4.42
	無線通信サービス	0.29
	電力	0.20
	ガス	0.61
	総合公益事業	0.29
	水道	0.29
	消費者金融	0.85
	資本市場	3.18
	専門サービス	0.20
合 計		98.89

投資不動産物件

グローバル・バリュー・オープン

該当事項はありません。

（参考）グローバル・バリュー・オープン マザーファンド

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

グローバル・バリュー・オープン

該当事項はありません。

（参考）グローバル・バリュー・オープン マザーファンド

該当事項はありません。

(3) 運用実績

純資産の推移

グローバル・バリュー・オープン

平成28年6月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記決算期末の純資産の推移は次の通りです。

		純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
		（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第20計算期間	(2006年11月28日)	7,855	8,020	1.1057	1.1290
第21計算期間	(2007年 5月28日)	8,012	8,202	1.2174	1.2461
第22計算期間	(2007年11月28日)	6,751	6,800	1.0331	1.0407

第23計算期間	(2008年 5月28日)	5,941	5,972	0.9515	0.9564
第24計算期間	(2008年11月28日)	3,672	3,702	0.6071	0.6121
第25計算期間	(2009年 5月28日)	3,845	3,876	0.6142	0.6192
第26計算期間	(2009年11月30日)	4,134	4,165	0.6699	0.6749
第27計算期間	(2010年 5月28日)	4,086	4,116	0.6708	0.6758
第28計算期間	(2010年11月29日)	4,041	4,070	0.6888	0.6938
第29計算期間	(2011年 5月30日)	4,033	4,062	0.7141	0.7191
第30計算期間	(2011年11月28日)	3,246	3,273	0.6001	0.6051
第31計算期間	(2012年 5月28日)	3,432	3,458	0.6592	0.6642
第32計算期間	(2012年11月28日)	3,680	3,706	0.7328	0.7378
第33計算期間	(2013年 5月28日)	4,497	4,520	1.0177	1.0227
第34計算期間	(2013年11月28日)	4,141	4,161	1.0764	1.0814
第35計算期間	(2014年 5月28日)	4,075	4,094	1.1232	1.1282
第36計算期間	(2014年11月28日)	4,231	4,246	1.3561	1.3611
第37計算期間	(2015年 5月28日)	4,272	4,287	1.4484	1.4534
第38計算期間	(2015年11月30日)	4,338	4,418	1.3615	1.3865
第39計算期間	(2016年 5月30日)	3,956	4,004	1.2472	1.2622
	2015年 6月末日	4,044		1.3777	
	7月末日	4,134		1.4150	
	8月末日	3,810		1.3157	
	9月末日	3,586		1.2364	
	10月末日	4,246		1.3649	
	11月末日	4,338		1.3615	
	12月末日	4,299		1.3360	
	2016年 1月末日	3,985		1.2400	
	2月末日	3,847		1.2011	
	3月末日	4,046		1.2635	
	4月末日	3,980		1.2573	
	5月末日	4,002		1.2517	
	6月末日	3,675		1.1538	

分配の推移

グローバル・バリュー・オープン

	計算期間	1口当たりの分配金
第20計算期間	2006年 5月30日～2006年11月28日	0.0250円
第21計算期間	2006年11月29日～2007年 5月28日	0.0300円
第22計算期間	2007年 5月29日～2007年11月28日	0.0080円
第23計算期間	2007年11月29日～2008年 5月28日	0.0050円
第24計算期間	2008年 5月29日～2008年11月28日	0.0050円
第25計算期間	2008年11月29日～2009年 5月28日	0.0050円

第26計算期間	2009年 5月29日～2009年11月30日	0.0050円
第27計算期間	2009年12月 1日～2010年 5月28日	0.0050円
第28計算期間	2010年 5月29日～2010年11月29日	0.0050円
第29計算期間	2010年11月30日～2011年 5月30日	0.0050円
第30計算期間	2011年 5月31日～2011年11月28日	0.0050円
第31計算期間	2011年11月29日～2012年 5月28日	0.0050円
第32計算期間	2012年 5月29日～2012年11月28日	0.0050円
第33計算期間	2012年11月29日～2013年 5月28日	0.0050円
第34計算期間	2013年 5月29日～2013年11月28日	0.0050円
第35計算期間	2013年11月29日～2014年 5月28日	0.0050円
第36計算期間	2014年 5月29日～2014年11月28日	0.0050円
第37計算期間	2014年11月29日～2015年 5月28日	0.0050円
第38計算期間	2015年 5月29日～2015年11月30日	0.0250円
第39計算期間	2015年12月 1日～2016年 5月30日	0.0150円

収益率の推移

グローバル・バリュー・オープン

	計算期間	収益率
第20計算期間	2006年 5月30日～2006年11月28日	11.2%
第21計算期間	2006年11月29日～2007年 5月28日	12.7%
第22計算期間	2007年 5月29日～2007年11月28日	14.5%
第23計算期間	2007年11月29日～2008年 5月28日	7.4%
第24計算期間	2008年 5月29日～2008年11月28日	35.7%
第25計算期間	2008年11月29日～2009年 5月28日	2.0%
第26計算期間	2009年 5月29日～2009年11月30日	9.9%
第27計算期間	2009年12月 1日～2010年 5月28日	0.9%
第28計算期間	2010年 5月29日～2010年11月29日	3.4%
第29計算期間	2010年11月30日～2011年 5月30日	4.4%
第30計算期間	2011年 5月31日～2011年11月28日	15.3%
第31計算期間	2011年11月29日～2012年 5月28日	10.7%
第32計算期間	2012年 5月29日～2012年11月28日	11.9%
第33計算期間	2012年11月29日～2013年 5月28日	39.6%
第34計算期間	2013年 5月29日～2013年11月28日	6.3%
第35計算期間	2013年11月29日～2014年 5月28日	4.8%
第36計算期間	2014年 5月29日～2014年11月28日	21.2%
第37計算期間	2014年11月29日～2015年 5月28日	7.2%
第38計算期間	2015年 5月29日～2015年11月30日	4.3%
第39計算期間	2015年12月 1日～2016年 5月30日	7.3%

各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

（４）設定及び解約の実績

グローバル・バリュー・オープン

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第20計算期間	2006年 5月30日～2006年11月28日	445,614,717	1,430,745,813	7,104,189,350
第21計算期間	2006年11月29日～2007年 5月28日	579,076,568	1,101,245,307	6,582,020,611
第22計算期間	2007年 5月29日～2007年11月28日	606,497,506	653,908,649	6,534,609,468
第23計算期間	2007年11月29日～2008年 5月28日	340,231,623	630,258,509	6,244,582,582
第24計算期間	2008年 5月29日～2008年11月28日	331,552,092	526,577,926	6,049,556,748
第25計算期間	2008年11月29日～2009年 5月28日	387,961,156	176,906,152	6,260,611,752
第26計算期間	2009年 5月29日～2009年11月30日	319,845,133	408,615,653	6,171,841,232
第27計算期間	2009年12月 1日～2010年 5月28日	331,551,059	412,003,398	6,091,388,893
第28計算期間	2010年 5月29日～2010年11月29日	253,565,665	477,855,610	5,867,098,948
第29計算期間	2010年11月30日～2011年 5月30日	245,059,951	463,051,449	5,649,107,450
第30計算期間	2011年 5月31日～2011年11月28日	215,639,279	454,913,401	5,409,833,328
第31計算期間	2011年11月29日～2012年 5月28日	199,819,987	402,581,194	5,207,072,121
第32計算期間	2012年 5月29日～2012年11月28日	165,420,557	349,570,340	5,022,922,338
第33計算期間	2012年11月29日～2013年 5月28日	179,439,829	782,857,090	4,419,505,077
第34計算期間	2013年 5月29日～2013年11月28日	133,506,837	705,252,001	3,847,759,913
第35計算期間	2013年11月29日～2014年 5月28日	343,896,516	562,703,511	3,628,952,918
第36計算期間	2014年 5月29日～2014年11月28日	111,302,300	620,277,807	3,119,977,411
第37計算期間	2014年11月29日～2015年 5月28日	103,261,427	273,475,459	2,949,763,379
第38計算期間	2015年 5月29日～2015年11月30日	421,126,434	184,077,008	3,186,812,805
第39計算期間	2015年12月 1日～2016年 5月30日	102,429,471	116,903,987	3,172,338,289

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

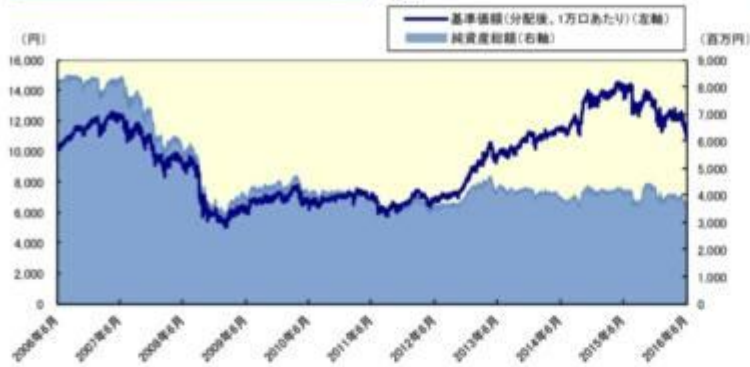
参考情報

< 更新後 >

運用実績 (2016年6月30日現在)

基準価額・純資産の推移

(日次)



分配の推移

(1万口あたり、課税前)

2016年5月	150 円
2015年11月	250 円
2015年5月	50 円
2014年11月	50 円
2014年5月	50 円
設定来累計	6,710 円

主要な資産の状況

実質的な銘柄別投資比率(上位)

順位	銘柄	業種	投資比率 (%)
1	JOHNSON & JOHNSON	医薬品	3.1
2	3M CORP	コングロマリット	2.4
3	EXXON MOBIL CORP	石油・ガス・消耗燃料	2.3
4	AMGEN INC	バイオテクノロジー	2.3
5	MICROSOFT CORP	ソフトウェア	2.3
6	UNITEDHEALTH GROUP INC	ヘルスケア・プロバイダー/ ヘルスケア・サービス	2.2
7	ABBVIE INC	バイオテクノロジー	2.0
8	ROCHE HOLDINGS (GENUSSCHEINE)	医薬品	2.0
9	KODI	情報・通信業	2.0
10	COCA COLA CO	飲料	1.9

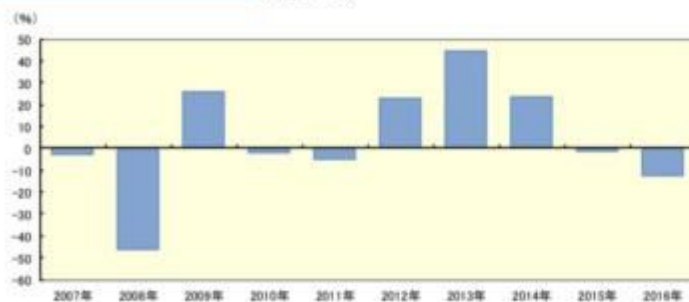
実質的な国/地域別投資比率(上位)

順位	国/地域 (通貨別)	投資比率 (%)
1	アメリカ	59.8
2	イギリス	10.8
3	日本	8.1
4	スイス	7.0
5	香港	3.0

※ユーロについては発行国で記載しております。

年間収益率の推移

(暦年ベース)



- ・ファンドの年間収益率は税引前分配金を再投資して算出。
- ・2016年は年初から運用実績作成基準日までの収益率。

●ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。●ファンドの運用状況は、別途、委託会社ホームページで開示している場合があります。

第3【ファンドの経理状況】

(1)当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)(以下「財務諸表等規則」という。)ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)(以下「投資信託財産計算規則」という。)に基づいて作成しております。なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2)当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第39期計算期間(平成27年12月1日から平成28年5月30日まで)の財務諸表について、新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

1 財務諸表

グローバル・バリュー・オープン

(1) 貸借対照表

(単位：円)

	第38期 (平成27年11月30日現在)	第39期 (平成28年 5月30日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	122,592,336	88,081,830
親投資信託受益証券	4,330,317,574	3,948,656,946
未収利息	219	-
流動資産合計	4,452,910,129	4,036,738,776
資産合計		
4,452,910,129		
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	79,670,320	47,585,074
未払解約金	366,006	4,817
未払受託者報酬	2,225,006	2,140,068
未払委託者報酬	31,594,910	30,388,936
未払利息	-	241
その他未払費用	66,689	64,139
流動負債合計	113,922,931	80,183,275
負債合計		
113,922,931		
純資産の部		
元本等		
元本	3,186,812,805	3,172,338,289
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金()	1,152,174,393	784,217,212
(分配準備積立金)	1,376,203,761	1,298,490,436
元本等合計	4,338,987,198	3,956,555,501
純資産合計		
4,338,987,198		
負債純資産合計		
4,452,910,129		

(2) 損益及び剰余金計算書

(単位：円)

	第38期 自 平成27年 5月29日 至 平成27年11月30日	第39期 自 平成27年12月 1日 至 平成28年 5月30日
営業収益		
受取利息	9,374	2,199
有価証券売買等損益	133,880,608	289,909,560
営業収益合計	133,871,234	289,907,361
営業費用		

	第38期 自 平成27年 5月29日 至 平成27年11月30日	第39期 自 平成27年12月 1日 至 平成28年 5月30日
支払利息	-	4,615
受託者報酬	2,225,006	2,140,068
委託者報酬	31,594,910	30,388,936
その他費用	66,689	64,139
営業費用合計	33,886,605	32,597,758
営業利益又は営業損失()	167,757,839	322,505,119
経常利益又は経常損失()	167,757,839	322,505,119
当期純利益又は当期純損失()	167,757,839	322,505,119
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額()	12,001,665	13,810,675
期首剰余金又は期首欠損金()	1,322,638,656	1,152,174,393
剰余金増加額又は欠損金減少額	146,248,318	30,061,526
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	146,248,318	30,061,526
剰余金減少額又は欠損金増加額	81,286,087	41,739,189
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	81,286,087	41,739,189
分配金	79,670,320	47,585,074
期末剰余金又は期末欠損金()	1,152,174,393	784,217,212

(3) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。
2. 費用・収益の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
3. 金融商品の時価等に関する事項の補 足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4. その他	当ファンドの計算期間は、信託約款の規定により、平成27年12月 1日から平成28年5月30日までとなっております。

(貸借対照表に関する注記)

第38期 平成27年11月30日現在	第39期 平成28年 5月30日現在
1. 計算期間の末日における受益権の総数 3,186,812,805口	1. 計算期間の末日における受益権の総数 3,172,338,289口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.3615円 (10,000口当たり純資産額) (13,615円)	2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.2472円 (10,000口当たり純資産額) (12,472円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

第38期 自 平成27年 5月29日 至 平成27年11月30日	第39期 自 平成27年12月 1日 至 平成28年 5月30日																																																												
<p>1. 運用の外部委託費用</p> <p>当ファンドの主要投資対象であるグローバル・バリュー・オープン マザーファンドにおいて、信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用として、個別契約により当社は運用会社であるNOMURA ASSET MANAGEMENT U.K. LIMITED(ノムラ・アセット・マネジメン U.K. リミテッド)及びNOMURA ASSET MANAGEMENT U.S.A. INC.(ノムラ・アセット・マネジメン U.S.A. インク)に対し総額で以下の金額を支払っております。なお、信託財産からの直接的な支弁は行っておりません。</p> <p>また、以下の金額は当該マザーファンドを投資対象とする全てのベビーファンドの合計額となっております。</p> <p>NOMURA ASSET MANAGEMENT U.K. LIMITED</p> <p style="padding-left: 2em;">支払金額 10,294,885円</p> <p>NOMURA ASSET MANAGEMENT U.S.A. INC.</p> <p style="padding-left: 2em;">支払金額 1,143,876円</p> <p>2. 分配金の計算過程</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">A</th> <th style="text-align: right;">22,071,984円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: right;">22,071,984円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: right;">0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td style="text-align: center;">C</td> <td style="text-align: right;">833,075,940円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td style="text-align: center;">D</td> <td style="text-align: right;">1,433,802,097円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td style="text-align: center;">E=A+B+C+D</td> <td style="text-align: right;">2,288,950,021円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td style="text-align: center;">F</td> <td style="text-align: right;">3,186,812,805口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td style="text-align: center;">G=E/F × 10,000</td> <td style="text-align: right;">7,182円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td style="text-align: center;">H</td> <td style="text-align: right;">250円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td style="text-align: center;">I=F × H/10,000</td> <td style="text-align: right;">79,670,320円</td> </tr> </tbody> </table>	項目	A	22,071,984円	費用控除後の配当等収益額	A	22,071,984円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	833,075,940円	分配準備積立金額	D	1,433,802,097円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,288,950,021円	当ファンドの期末残存口数	F	3,186,812,805口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	7,182円	10,000口当たり分配金額	H	250円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	79,670,320円	<p>1. 運用の外部委託費用</p> <p>当ファンドの主要投資対象であるグローバル・バリュー・オープン マザーファンドにおいて、信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用として、個別契約により当社は運用会社であるNOMURA ASSET MANAGEMENT U.K. LIMITED(ノムラ・アセット・マネジメン U.K. リミテッド)及びNOMURA ASSET MANAGEMENT U.S.A. INC.(ノムラ・アセット・マネジメン U.S.A. インク)に対し総額で以下の金額を支払っております。なお、信託財産からの直接的な支弁は行っておりません。</p> <p>また、以下の金額は当該マザーファンドを投資対象とする全てのベビーファンドの合計額となっております。</p> <p>NOMURA ASSET MANAGEMENT U.K. LIMITED</p> <p style="padding-left: 2em;">支払金額 9,800,368円</p> <p>NOMURA ASSET MANAGEMENT U.S.A. INC.</p> <p style="padding-left: 2em;">支払金額 1,088,930円</p> <p>2. 分配金の計算過程</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">A</th> <th style="text-align: right;">18,828,827円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: right;">18,828,827円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: right;">0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td style="text-align: center;">C</td> <td style="text-align: right;">872,924,499円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td style="text-align: center;">D</td> <td style="text-align: right;">1,327,246,683円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td style="text-align: center;">E=A+B+C+D</td> <td style="text-align: right;">2,219,000,009円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td style="text-align: center;">F</td> <td style="text-align: right;">3,172,338,289口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td style="text-align: center;">G=E/F × 10,000</td> <td style="text-align: right;">6,994円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td style="text-align: center;">H</td> <td style="text-align: right;">150円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td style="text-align: center;">I=F × H/10,000</td> <td style="text-align: right;">47,585,074円</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 追加情報</p> <p>平成28年1月29日の日本銀行による「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入発表後、国内短期金融市場では利回り水準が低下しております。この影響により、利息に相当する額を当ファンドが実質的に負担する場合には受取利息のマイナスまたは支払利息として表示しております。</p>	項目	A	18,828,827円	費用控除後の配当等収益額	A	18,828,827円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	872,924,499円	分配準備積立金額	D	1,327,246,683円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,219,000,009円	当ファンドの期末残存口数	F	3,172,338,289口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,994円	10,000口当たり分配金額	H	150円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	47,585,074円
項目	A	22,071,984円																																																											
費用控除後の配当等収益額	A	22,071,984円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	833,075,940円																																																											
分配準備積立金額	D	1,433,802,097円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,288,950,021円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	3,186,812,805口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	7,182円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	250円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	79,670,320円																																																											
項目	A	18,828,827円																																																											
費用控除後の配当等収益額	A	18,828,827円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	872,924,499円																																																											
分配準備積立金額	D	1,327,246,683円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,219,000,009円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	3,172,338,289口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,994円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	150円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	47,585,074円																																																											

(金融商品に関する注記)

(1)金融商品の状況に関する事項

第38期 自 平成27年 5月29日 至 平成27年11月30日	第39期 自 平成27年12月 1日 至 平成28年 5月30日
1. 金融商品に対する取組方針	1. 金融商品に対する取組方針

<p>当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。</p> <p>2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。</p> <p>当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。</p> <p>これらは、株価変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。</p> <p>3. 金融商品に係るリスク管理体制 委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行っております。</p> <p>市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行っております。</p> <p>信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行っております。</p> <p>流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行っております。</p>	<p>同左</p> <p>2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 同左</p> <p>3. 金融商品に係るリスク管理体制 同左</p>
---	--

(2) 金融商品の時価等に関する事項

第38期 平成27年11月30日現在	第39期 平成28年 5月30日現在
<p>1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p> <p>2. 時価の算定方法 親投資信託受益証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。</p> <p>コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。</p>	<p>1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左</p> <p>2. 時価の算定方法 同左</p>

(関連当事者との取引に関する注記)

第38期 自 平成27年 5月29日 至 平成27年11月30日	第39期 自 平成27年12月 1日 至 平成28年 5月30日
--	--

市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左
---	----

(その他の注記)

1 元本の移動

	第38期 自 平成27年 5月29日 至 平成27年11月30日	第39期 自 平成27年12月 1日 至 平成28年 5月30日
期首元本額	2,949,763,379円	期首元本額 3,186,812,805円
期中追加設定元本額	421,126,434円	期中追加設定元本額 102,429,471円
期中一部解約元本額	184,077,008円	期中一部解約元本額 116,903,987円

2 有価証券関係

売買目的有価証券

種類	第38期 自 平成27年 5月29日 至 平成27年11月30日	第39期 自 平成27年12月 1日 至 平成28年 5月30日
	損益に含まれた評価差額（円）	損益に含まれた評価差額（円）
親投資信託受益証券	109,973,651	264,435,756
合計	109,973,651	264,435,756

3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

(4) 附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式(平成28年 5月30日現在)

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券(平成28年 5月30日現在)

(単位:円)

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
----	----	----	------	-----	----

親投資信託受益証券	日本円	グローバル・バリュー・オープン マザーファンド		3,948,656,946	
	小計	銘柄数：1		3,948,656,946	
		組入時価比率：99.8%			100.0%
合計				3,948,656,946	

(注1)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

(参考)

当ファンドは「グローバル・バリュー・オープン マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された親投資信託受益証券は、すべて同親投資信託の受益証券です。

なお、以下に記載した状況は監査の対象外となっております。

グローバル・バリュー・オープン マザーファンド

貸借対照表

(単位：円)

(平成28年 5月30日現在)

資産の部	
流動資産	
預金	10,636,396
コール・ローン	46,960,205
株式	5,402,265,670
未収入金	10,494,477
未収配当金	16,583,807
流動資産合計	5,486,940,555
資産合計	5,486,940,555
負債の部	
流動負債	
未払利息	128
流動負債合計	128
負債合計	128
純資産の部	
元本等	
元本	2,746,551,121
剰余金	
期末剰余金又は期末欠損金()	2,740,389,306
元本等合計	5,486,940,427
純資産合計	5,486,940,427
負債純資産合計	5,486,940,555

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1.運用資産の評価基準及び評価方法	株式 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。
2.外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。
3.費用・収益の計上基準	受取配当金 受取配当金は、原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 為替差損益 約定日基準で計上しております。
4.金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

(貸借対照表に関する注記)

平成28年 5月30日現在	
1. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
1口当たり純資産額	1.9978円
(10,000口当たり純資産額)	(19,978円)

(金融商品に関する注記)

(1)金融商品の状況に関する事項

自 平成27年12月 1日 至 平成28年 5月30日
<p>1.金融商品に対する取組方針</p> <p>当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。</p> <p>2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク</p> <p>当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、附属明細表に記載しております。 これらは、株価変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。</p> <p>3.金融商品に係るリスク管理体制</p> <p>委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行っております。</p> <p> 市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行っております。</p> <p> 信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行っております。</p> <p> 流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行っております。</p>

(2)金融商品の時価等に関する事項

平成28年 5月30日現在	
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありませ ん。
2. 時価の算定方法	株式 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としており ます。

(その他の注記)

元本の移動及び期末元本額の内訳

平成28年 5月30日現在	
期首	平成27年12月 1日
本報告書における開示対象ファンドの期首における当ファンドの元本額	2,773,166,252円
同期中における追加設定元本額	110,213,282円
同期中における一部解約元本額	136,828,413円
期末元本額	2,746,551,121円
期末元本額の内訳*	
グローバル・バリュー・オープン	1,976,502,626円
グローバル・バリュー・オープン(確定拠出年金向け)	770,048,495円

*は当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1)株式(平成28年 5月30日現在)

種類	通貨	銘柄	株式数	評価額		備考
				単価	金額	
株式	日本円	大東建託	4,400	16,330.00	71,852,000	
		日本たばこ産業	15,600	4,383.00	68,374,800	
		信越化学工業	4,200	6,350.00	26,670,000	
		三菱電機	61,000	1,314.00	80,154,000	
		K D D I	30,800	3,193.00	98,344,400	
		エービーシー・マート	11,400	7,120.00	81,168,000	
		小計	銘柄数: 6			

	組入時価比率：7.8%			7.9%
米ドル	SCHLUMBERGER LTD	5,900	77.17	455,303.00
	CHEVRON CORP	4,349	102.02	443,684.98
	CONOCOPHILLIPS	5,800	44.33	257,114.00
	EXXON MOBIL CORP	12,400	90.01	1,116,124.00
	SUNCOR ENERGY INC	14,200	27.54	391,068.00
	MONSANTO CO	900	109.49	98,541.00
	PRAXAIR INC	5,800	110.77	642,466.00
	RPM INTERNATIONAL INC	7,200	50.51	363,672.00
	VALSPAR CORP	700	107.55	75,285.00
	BOEING CO	4,200	129.22	542,724.00
	UNITED TECHNOLOGIES	2,000	100.76	201,520.00
	EMERSON ELEC	7,800	52.20	407,160.00
	3M CORP	6,888	168.89	1,163,314.32
	GRAINGER(W.W.) INC	1,400	225.88	316,232.00
	UNITED PARCEL SERVICE-CL B	7,166	102.98	737,954.68
	CSX CORP	22,000	25.89	569,580.00
	COMCAST CORP-CL A	10,200	62.88	641,376.00
	HOME DEPOT	2,600	133.94	348,244.00
	L BRANDS, INC	10,800	67.92	733,536.00
	ROSS STORES INC	16,600	53.92	895,072.00
	COCA COLA CO	21,000	44.78	940,380.00
	ALTRIA GROUP INC	10,417	63.96	666,271.32
	PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	7,711	99.18	764,776.98
	COLGATE PALMOLIVE CO.	4,100	70.59	289,419.00
	ABBOTT LABORATORIES	15,200	39.30	597,360.00
	MEDTRONIC PLC	6,578	81.69	537,356.82
	AMERISOURCEBERGEN CORP	4,500	74.03	333,135.00
	UNITEDHEALTH GROUP INC	7,892	134.00	1,057,528.00
	ABBVIE INC	16,300	62.71	1,022,173.00
	AMGEN INC	7,500	156.74	1,175,550.00
JOHNSON & JOHNSON	12,800	113.06	1,447,168.00	
JPMORGAN CHASE & CO	9,800	65.43	641,214.00	
US BANCORP	17,900	42.95	768,805.00	
S&P GLOBAL INC	7,100	111.47	791,437.00	

	MARSH & MCLENNAN COS	7,300	65.93	481,289.00	
	PRINCIPAL FINANCIAL GROUP	11,200	44.41	497,392.00	
	AUTOMATIC DATA PROCESS	6,700	88.04	589,868.00	
	PAYCHEX INC	12,041	54.33	654,187.53	
	MICROSOFT CORP	22,200	52.32	1,161,504.00	
	ORACLE CORPORATION	12,500	40.07	500,875.00	
	CISCO SYSTEMS	9,100	28.92	263,172.00	
	APPLE INC	8,400	100.35	842,940.00	
	SEAGATE TECHNOLOGY	6,300	21.66	136,458.00	
	LINEAR TECHNOLOGY CORP	8,200	47.17	386,794.00	
	QUALCOMM INC	7,900	55.27	436,633.00	
	XILINX INC	7,900	47.36	374,144.00	
	EVERSOURCE ENERGY	1,700	55.01	93,517.00	
	WEC ENERGY GROUP INC	3,300	59.73	197,109.00	
	AMERICAN WATER WORKS CO INC	2,577	74.12	191,007.24	
	AMERICAN EXPRESS CO	7,100	65.52	465,192.00	
	BLACKROCK INC	1,000	365.09	365,090.00	
	NORTHERN TRUST CORP	10,700	74.24	794,368.00	
	T ROWE PRICE GROUP INC	7,600	77.13	586,188.00	
小計	銘柄数：53			30,450,272.87	
				(3,371,758,714)	
	組入時価比率：61.5%			62.4%	
カナダドル	NATIONAL BANK OF CANADA	19,900	44.03	876,197.00	
	TORONTO DOMINION BANK	13,000	57.67	749,710.00	
小計	銘柄数：2			1,625,907.00	
				(137,730,581)	
	組入時価比率：2.5%			2.5%	
ユーロ	AIR LIQUIDE	4,760	97.73	465,194.80	
	BASF SE	2,132	69.92	149,069.44	
	AENA SA	2,145	122.00	261,690.00	
	ATLANTIA SPA	6,356	24.06	152,925.36	
	RELX NV	33,085	15.56	514,968.02	
	ALLIANZ SE-REG	2,585	146.75	379,348.75	
	SAP SE	7,864	72.77	572,263.28	
	SNAM SPA	52,746	5.07	267,685.95	

小計	銘柄数：8			2,763,145.60 (339,590,594)	6.3%
	組入時価比率：6.2%				
英ポンド	CRODA INTERNATIONAL PLC	4,016	29.50	118,472.00	
	COBHAM PLC	119,056	1.64	195,728.06	
	ROTORK PLC	258,945	1.95	507,273.25	
	COMPASS GROUP PLC	34,289	12.88	441,642.32	
	BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	10,812	42.05	454,698.66	
	ASTRAZENECA PLC	10,906	40.22	438,693.85	
	GLAXOSMITHKLINE PLC	23,012	14.52	334,249.30	
	INMARSAT PLC	36,822	7.48	275,612.67	
	VODAFONE GROUP PLC	138,287	2.32	321,655.56	
小計	銘柄数：9			3,088,025.67 (499,611,673)	9.2%
	組入時価比率：9.1%				
スイスフラン	SYNGENTA AG-2ND LINE	1,791	391.50	701,176.50	
	CIE FINANCIERE RICHEMONT-BR A	1,521	58.75	89,358.75	
	NESTLE SA-REG	10,090	74.25	749,182.50	
	NOVARTIS-REG	10,533	79.60	838,426.80	
	ROCHE HOLDINGS (GENUSSCHEINE)	3,841	263.40	1,011,719.40	
小計	銘柄数：5			3,389,863.95 (377,325,756)	7.0%
	組入時価比率：6.9%				
豪ドル	TELSTRA CORP LTD	60,404	5.67	342,490.68	
小計	銘柄数：1			342,490.68 (27,224,584)	0.5%
	組入時価比率：0.5%				
香港ドル	SANDS CHINA LTD	50,800	28.95	1,470,660.00	
	CHINA TELECOM CORP LTD-H	878,000	3.74	3,283,720.00	
	HKT TRUST AND HKT LTD	637,000	11.32	7,210,840.00	
小計	銘柄数：3			11,965,220.00 (170,624,037)	3.2%
	組入時価比率：3.1%				
新台湾ドル	DELTA ELECTRONICS INC	106,303	143.00	15,201,329.00	
小計	銘柄数：1			15,201,329.00 (51,836,531)	

	組入時価比率：0.9%			1.0%
合計			5,402,265,670	(4,975,702,470)

(注1)外貨建有価証券については、通貨種類毎の小計欄の()内は、邦貨換算額(単位:円)であります。

(注2)合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係るもので、内書であります。

(注3)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

(2)株式以外の有価証券(平成28年 5月30日現在)

該当事項はありません。

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

2 ファンドの現況

純資産額計算書

グローバル・バリュー・オープン

平成28年 6月30日現在

資産総額	3,682,487,109円
負債総額	6,496,991円
純資産総額(-)	3,675,990,118円
発行済口数	3,185,944,176口
1口当たり純資産額(/)	1.1538円

(参考)グローバル・バリュー・オープン マザーファンド

平成28年 6月30日現在

資産総額	5,132,875,548円
負債総額	30,888,116円
純資産総額(-)	5,101,987,432円
発行済口数	2,757,085,096口
1口当たり純資産額(/)	1.8505円

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1 委託会社等の概況

< 更新後 >

(1) 資本金の額

平成28年6月末現在、17,180百万円

会社が発行する株式総数 20,000,000株

発行済株式総数 5,150,693株

過去5年間における主な資本金の額の増減：該当事項はありません。

(2) 会社の機構

(a) 会社の意思決定機構

当社は指名委員会等設置会社であり、会社の機関として株主総会、取締役会のほか代表執行役ならびに執行役、指名委員会、監査委員会および報酬委員会をおきますが、代表取締役および監査役会は設けません。各機関の権限は以下のとおりであります。

株主総会

株主により構成され、取締役・会計監査人の選任・解任、剰余金の配当の承認、定款変更・合併等の重要事項の承認等を行います。

取締役会

取締役により構成され、当社の業務につき意思決定を行います。また執行役・代表執行役、各委員会の委員等を選任し、取締役および執行役の職務の執行を監督します。

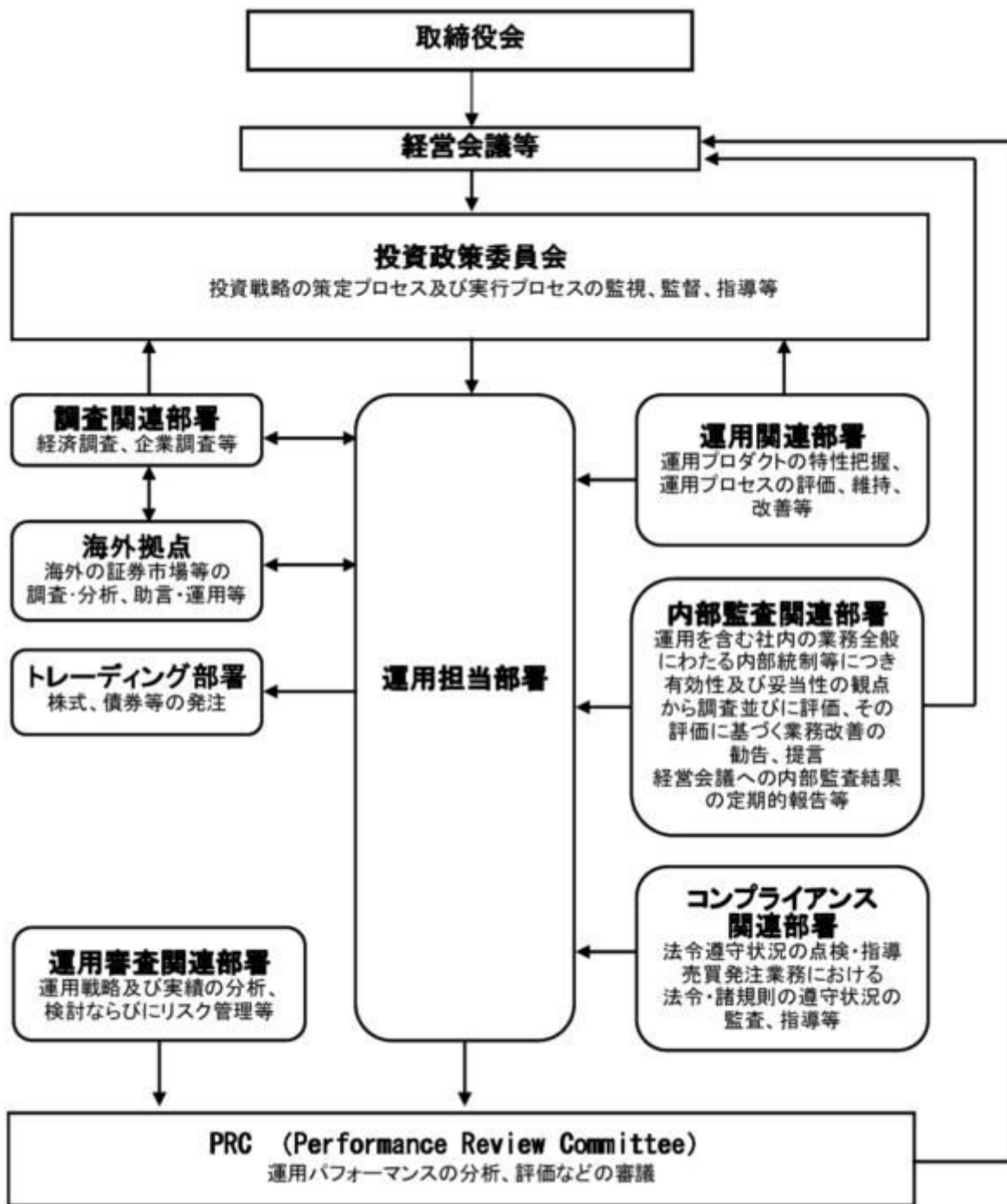
代表執行役・執行役

各執行役は、当社の業務の執行を行います。代表執行役は当社を代表いたします。また取締役会により委任された一定の事項について、代表執行役および執行役で構成される経営会議および執行役会が意思決定を行います。なお、当社は執行役員制度を導入しており、経営会議の構成員には執行役会で選定された執行役員が含まれます。

委員会

取締役3名以上（但し、各委員につき過半数は社外取締役であって執行役でない者）で構成され、イ）指名委員会は、株主総会に提出する取締役の選任・解任・不再任に関する議案の内容を決定し、ロ）報酬委員会は取締役・執行役が受ける個人別の報酬の決定に関する方針を定め、かつそれに従って各報酬の内容を決定し、ハ）監査委員会は取締役・執行役の職務執行の適法性ならびに妥当性に関する監査を行うとともに、株主総会に提出する会計監査人の選任・解任・不再任に関する議案の内容を決定します。

(b)投資信託の運用体制



2 事業の内容及び営業の概況

<更新後>

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託者は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行っています。また「金融商品取引法」に定める第二種金融商品取引業に係る業務の一部及び投資助言業務を行っています。

委託者の運用する証券投資信託は平成28年5月31日現在次の通りです(ただし、親投資信託を除きます。)

種類	本数	純資産総額(百万円)
追加型株式投資信託	909	17,955,808
単位型株式投資信託	56	216,302
追加型公社債投資信託	18	6,015,996
単位型公社債投資信託	231	1,645,127
合計	1,214	25,833,233

3 委託会社等の経理状況

<更新後>

1. 委託会社である野村アセットマネジメント株式会社(以下「委託会社」という)の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という)、ならびに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年8月6日内閣府令第52号)により作成しております。
2. 財務諸表の記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。
3. 委託会社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、事業年度(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)の財務諸表について、新日本有限責任監査法人の監査を受けております。

(1) 貸借対照表

区分	注記 番号	前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
		金額(百万円)	金額(百万円)
(資産の部)			
流動資産			
現金・預金		411	208
金銭の信託		56,824	55,341
有価証券		17,100	24,100
前払金		15	34
前払費用		29	2
未収入金		330	511
未収委託者報酬		12,679	14,131
未収運用受託報酬		7,436	7,309
繰延税金資産		2,594	2,028
その他		73	56
貸倒引当金		9	10
流動資産計		97,486	103,715
固定資産			
有形固定資産		1,322	1,176
建物	2	413	403

器具備品	2	909		773	
無形固定資産			7,254		7,681
ソフトウェア		7,253		7,680	
その他		1		0	
投資その他の資産			24,840		23,225
投資有価証券		11,593		9,216	
関係会社株式		10,149		10,958	
従業員長期貸付金		30		-	
長期差入保証金		49		45	
長期前払費用		60		49	
前払年金費用		2,776		2,777	
その他		179		176	
貸倒引当金		0		-	
固定資産計			33,417		32,083
資産合計			130,903		135,799

区分	注記 番号	前事業年度 (平成27年3月31日)		当事業年度 (平成28年3月31日)	
		金額(百万円)		金額(百万円)	
(負債の部)					
流動負債					
預り金			118		118
未払金	1		11,602		11,855
未払収益分配金		1		1	
未払償還金		32		31	
未払手数料		4,883		4,537	
その他未払金		6,684		7,284	
未払費用	1		10,221		8,872
未払法人税等			1,961		1,838
前受収益			-		45
賞与引当金			4,558		4,809
外国税支払損失引当金			1,721		-
流動負債計			30,182		27,538
固定負債					
退職給付引当金			2,467		2,708
時効後支払損引当金			521		526
繰延税金負債			747		68
固定負債計			3,735		3,303
負債合計			33,918		30,842
(純資産の部)					
株主資本					
資本金			90,092		99,606
資本剰余金			17,180		17,180
資本準備金			11,729		13,729
その他資本剰余金		11,729		11,729	
利益剰余金		-		2,000	
利益準備金			61,182		68,696
その他利益剰余金		685		685	
別途積立金		60,497		68,011	
繰越利益剰余金		24,606		24,606	
		35,890		43,405	

評価・換算差額等		6,893	5,349
その他有価証券評価差額金		6,893	5,349
純資産合計		96,985	104,956
負債・純資産合計		130,903	135,799

(2) 損益計算書

区分	注記 番号	前事業年度	当事業年度
		(自 平成26年 4月 1日 至 平成27年 3月31日)	(自 平成27年 4月 1日 至 平成28年 3月31日)
		金額(百万円)	金額(百万円)
営業収益			
委託者報酬		96,159	104,445
運用受託報酬		31,466	31,351
その他営業収益		221	219
営業収益計		127,847	136,016
営業費用			
支払手数料		47,060	46,531
広告宣伝費		823	1,008
公告費		-	0
受益証券発行費		5	5
調査費		28,326	28,068
調査費		1,299	4,900
委託調査費		27,027	23,167
委託計算費		1,156	1,148
営業雑経費		3,275	3,899
通信費		193	185
印刷費		951	969
協会費		77	78
諸経費		2,053	2,666
営業費用計		80,648	80,662
一般管理費			
給料		11,660	11,835
役員報酬	2	289	367
給料・手当		6,874	6,928
賞与		4,496	4,539
交際費		131	124
旅費交通費		472	488
租税公課		501	695
不動産賃借料		1,218	1,230
退職給付費用		723	1,063
固定資産減価償却費		3,120	2,589
諸経費		6,815	7,801
一般管理費計		24,643	25,827
営業利益		22,555	29,526

区分	注記 番号	前事業年度 (自 平成26年 4月 1日 至 平成27年 3月31日)		当事業年度 (自 平成27年 4月 1日 至 平成28年 3月31日)	
		金額(百万円)		金額(百万円)	
営業外収益					
受取配当金	1	4,038		7,323	
受取利息		5		4	
金銭の信託運用益		347		-	
為替差益		-		281	
その他		366		382	
営業外収益計			4,756		7,991
営業外費用					
金銭の信託運用損		-		1,196	
時効後支払損引当金繰入額		28		72	
その他		137		52	
営業外費用計			166		1,321
經常利益			27,146		36,196
特別利益					
投資有価証券等売却益		794		50	
株式報酬受入益		142		96	
特別利益計			936		146
特別損失					
投資有価証券売却損		-		95	
投資有価証券等評価損		91		-	
固定資産除却損	3	357		60	
外国税支払損失引当金繰入額		1,721		-	
特別損失計			2,169		156
税引前当期純利益			25,913		36,186
法人税、住民税及び事業税			8,433		9,806
法人税等調整額			2,488		744
当期純利益			19,967		25,635

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 平成26年 4月 1日 至 平成27年 3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本							株主 資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益 準備金	利益剰余金		利益 剰余金 合計	
		資本 準備金	資本 剰余金 合計		その他利益剰余金			
					別 途 積立金	繰 越 利 益 剰余金		
当期首残高	17,180	11,729	11,729	685	24,606	26,048	51,339	80,249

会計方針の変更による累積的影響額						81	81	81
会計方針の変更を反映した当期首残高	17,180	11,729	11,729	685	24,606	25,966	51,258	80,168
当期変動額								
剰余金の配当						10,043	10,043	10,043
当期純利益						19,967	19,967	19,967
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	-	9,923	9,923	9,923
当期末残高	17,180	11,729	11,729	685	24,606	35,890	61,182	90,092

(単位：百万円)

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	6,679	6,679	86,929
会計方針の変更による累積的影響額			81
会計方針の変更を反映した当期首残高	6,679	6,679	86,847
当期変動額			
剰余金の配当			10,043
当期純利益			19,967
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	213	213	213
当期変動額合計	213	213	10,137
当期末残高	6,893	6,893	96,985

当事業年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本			
	資本剰余金		利益剰余金	
				その他利益剰余金

	資本金	資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	別途積立金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計	株主資本合計
当期首残高	17,180	11,729	-	11,729	685	24,606	35,890	61,182	90,092
当期変動額									
剰余金の配当							19,933	19,933	19,933
当期純利益							25,635	25,635	25,635
合併による増加			2,000	2,000			144	144	2,144
吸収分割による増加							1,668	1,668	1,668
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）									
当期変動額合計	-	-	2,000	2,000	-	-	7,514	7,514	9,514
当期末残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	24,606	43,405	68,696	99,606

(単位：百万円)

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	6,893	6,893	96,985
当期変動額			
剰余金の配当			19,933
当期純利益			25,635
合併による増加			2,144
吸収分割による増加			1,668
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1,543	1,543	1,543
当期変動額合計	1,543	1,543	7,971
当期末残高	5,349	5,349	104,956

[重要な会計方針]

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>(1) 子会社株式及び関連会社株式 ... 移動平均法による原価法</p> <p>(2) その他有価証券 時価のあるもの ... 決算期末日の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。) 時価のないもの ... 移動平均法による原価法</p>
--------------------	--

2. 金銭の信託の評価基準及び評価方法	時価法								
3. 固定資産の減価償却の方法	<p>(1) 有形固定資産 定率法を採用しております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)については、定額法を採用しております。 主な耐用年数は以下の通りであります。</p> <table data-bbox="691 353 986 479"> <tr> <td>建物</td> <td>38～50年</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>8～15年</td> </tr> <tr> <td>構築物</td> <td>20年</td> </tr> <tr> <td>器具備品</td> <td>4～15年</td> </tr> </table> <p>(2) 無形固定資産及び投資その他の資産 定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。</p>	建物	38～50年	附属設備	8～15年	構築物	20年	器具備品	4～15年
建物	38～50年								
附属設備	8～15年								
構築物	20年								
器具備品	4～15年								
4. 引当金の計上基準	<p>(1) 貸倒引当金 一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(2) 賞与引当金 賞与の支払いに備えるため、支払見込額を計上しております。</p> <p>(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、退職一時金及び確定給付型企业年金について、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。 退職給付見込額の期間帰属方法 退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法 確定給付型企业年金に係る数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。また、退職一時金に係る数理計算上の差異は、発生した事業年度の翌期に一括して費用処理することとしております。 退職一時金及び確定給付型企业年金に係る過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度から費用処理することとしております。</p> <p>(4) 時効後支払損引当金 時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。</p> <p>(5) 外国税支払損失引当金 将来発生する可能性のある外国税額のうち、当社において見込まれる負担所要額を計上しております。</p>								
5. 消費税等の会計処理方法	消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっており、控除対象外消費税及び地方消費税は、当期の費用として処理しております。								
6. 連結納税制度の適用	連結納税制度を適用しております。								

[注記事項]

貸借対照表関係

前事業年度末 (平成27年3月31日)	当事業年度末 (平成28年3月31日)
1. 関係会社に対する資産及び負債 区分掲記されたもの以外で各科目に含まれているものは、次のとおりであります。	1. 関係会社に対する資産及び負債 区分掲記されたもの以外で各科目に含まれているものは、次のとおりであります。
未払金 4,979百万円	未払金 5,894百万円
未払費用 1,411	未払費用 1,151
2. 有形固定資産より控除した減価償却累計額	2. 有形固定資産より控除した減価償却累計額
建物 607百万円	建物 641百万円
器具備品 3,052	器具備品 3,132
合計 3,659	合計 3,774

損益計算書関係

前事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	当事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)
1. 関係会社に係る注記 区分掲記されたもの以外で関係会社に対するものは、次のとおりであります。	1. 関係会社に係る注記 区分掲記されたもの以外で関係会社に対するものは、次のとおりであります。
受取配当金 3,966百万円	受取配当金 7,081百万円
2. 役員報酬の範囲額 役員報酬は報酬委員会決議に基づき支給されております。	2. 役員報酬の範囲額 (同左)
3. 固定資産除却損	3. 固定資産除却損
建物 円 - 百万	建物 1百万円
器具備品 15	器具備品 4
ソフトウェア 342	ソフトウェア 54
ア	ア
合計 357	合計 60

株主資本等変動計算書関係

前事業年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首株式数	当事業年度増加株式数	当事業年度減少株式数	当事業年度末株式数
普通株式	5,150,693株	-	-	5,150,693株

2. 剰余金の配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成26年5月14日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	10,043百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	1,950円
基準日	平成26年3月31日
効力発生日	平成26年6月2日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

平成27年5月15日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	19,933百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	3,870円
基準日	平成27年3月31日
効力発生日	平成27年6月26日

当事業年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首株式数	当事業年度増加株式数	当事業年度減少株式数	当事業年度末株式数
普通株式	5,150,693株	-	-	5,150,693株

2. 剰余金の配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成27年5月15日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	19,933百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	3,870円
基準日	平成27年3月31日
効力発生日	平成27年6月26日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

平成28年5月13日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	34,973百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	6,790円
基準日	平成28年3月31日
効力発生日	平成28年6月24日

金融商品関係

前事業年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、投資信託の運用を業として行っており、自らが運用する投資信託の商品性維持等を目的として、当該投資信託を特定金外信託を通じ保有しております。特定金外信託を通じ行っているデリバティブ取引については、保有する投資信託にかかる将来の為替及び価格の変動によるリスクの軽減を目的としているため、投資信託保有残高の範囲内で行うこととし、投機目的のためのデリバティブ取引は行わない方針であります。

なお、余資運用に関しては、譲渡性預金等安全性の高い金融資産で運用し、資金調達に関しては、親会社である野村ホールディングス株式会社及びその他の金融機関からの短期借入による方針であります。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

特定金外信託を通じ保有している投資信託につきましては、為替変動リスクや価格変動リスクに晒されておりますが、その大部分については為替予約、株価指数先物、債券先物、スワップ取引などのデリバティブ取引によりヘッジしております。また、株式につきましては、政策投資として、あるいは業務上の関係維持を目的として保有しておりますが、価格変動リスクに晒されております。有価証券及び投資有価証券並びに金銭の信託については財務部が管理しており、定期的に時価や発行体の財務状況を把握し、その内容を経営に報告しております。

デリバティブ取引の実行及び管理については、財務部及び運用調査本部で行っております。デリバティブ取引については、取引相手先として高格付を有する金融機関に限定しているため信用リスクはほとんどないと認識しております。財務部は月に一度デリバティブ取引の内容を含んだ財務報告を経営会議で行っております。

また、営業債権である未収委託者報酬は、投資信託約款に基づき、信託財産から委託者に対して支払われる信託報酬の未払金額であり、信託財産は受託銀行において分別保管されているため、信用リスクはほとんどないと認識しております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

平成27年3月31日における貸借対照表計上額、時価、及びこれらの差額については次のとおりです。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金・預金	411	411	-
(2)金銭の信託	56,824	56,824	-
(3)未収委託者報酬	12,679	12,679	-
(4)有価証券及び投資有価証券	27,398	27,398	-
その他有価証券	27,398	27,398	-
(5)関係会社株式	3,064	196,109	193,045
資産計	100,378	293,423	193,045
(6)未払金	11,602	11,602	-
未払収益分配金	1	1	-
未払償還金	32	32	-
未払手数料	4,883	4,883	-
その他未払金	6,684	6,684	-
(7)未払費用	10,221	10,221	-

(8)未払法人税等	1,961	1,961	-
負債計	23,784	23,784	-

注1：金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項

(1) 現金・預金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 金銭の信託

信託財産は、主として投資信託、デリバティブ取引、その他の資産（コールローン・委託証拠金等）で構成されております。これらの時価について投資信託については基準価額、デリバティブ取引に関しては、上場デリバティブ取引は取引所の価格、為替予約取引は先物為替相場、店頭デリバティブ取引は取引先金融機関から提示された価格等によっております。また、その他の資産については短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3)未収委託者報酬

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(4) 有価証券及び投資有価証券

その他有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格によっております。また、譲渡性預金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

また、保有目的ごとの有価証券に関する注記事項については、「有価証券関係」注記を参照ください。

(5) 関係会社株式

取引所の価格によっております。

(6) 未払金、(7) 未払費用、(8) 未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

注2：非上場株式等（貸借対照表計上額：投資有価証券1,294百万円、関係会社株式7,085百万円）は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュフローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「有価証券及び投資有価証券」には含めておりません。なお、当事業年度において、非上場株式について90百万円減損処理を行っております。

注3：金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：百万円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
預金	411	-	-	-
金銭の信託	56,824	-	-	-

未収委託者報酬	12,679	-	-	-
有価証券	17,100	-	-	-
合計	87,015	-	-	-

当事業年度（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）

1. 金融商品の状況に関する事項

（1）金融商品に対する取組方針

当社は、投資信託の運用を業として行っており、自社が運用する投資信託の商品性維持等を目的として、当該投資信託を特定金外信託を通じ保有しております。特定金外信託を通じ行っているデリバティブ取引については、保有する投資信託にかかる将来の為替及び価格の変動によるリスクの軽減を目的としているため、投資信託保有残高の範囲内で行うこととし、投機目的のためのデリバティブ取引は行わない方針であります。

なお、余資運用に関しては、譲渡性預金等安全性の高い金融資産で運用し、資金調達に関しては、親会社である野村ホールディングス株式会社及びその他の金融機関からの短期借入による方針であります。

（2）金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

特定金外信託を通じ保有している投資信託につきましては、為替変動リスクや価格変動リスクに晒されておりますが、その大部分については為替予約、株価指数先物、債券先物、スワップ取引などのデリバティブ取引によりヘッジしております。また、株式につきましては、政策投資として、あるいは業務上の関係維持を目的として保有しておりますが、価格変動リスクに晒されております。有価証券及び投資有価証券並びに金銭の信託については財務部が管理しており、定期的に時価や発行体の財務状況を把握し、その内容を経営に報告しております。

デリバティブ取引の実行及び管理については、財務部及び運用調査本部で行っております。デリバティブ取引については、取引相手先として高格付を有する金融機関に限定しているため信用リスクはほとんどないと認識しております。財務部は月に一度デリバティブ取引の内容を含んだ財務報告を経営会議で行っております。

また、営業債権である未収委託者報酬は、投資信託約款に基づき、信託財産から委託者に対して支払われる信託報酬の未払金額であり、信託財産は受託銀行において分別保管されているため、信用リスクはほとんどないと認識しております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

平成28年3月31日における貸借対照表計上額、時価、及びこれらの差額については次のとおりです。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

（単位：百万円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金・預金	208	208	-
(2)金銭の信託	55,341	55,341	-
(3)未収委託者報酬	14,131	14,131	-
(4)未収運用受託報酬	7,309	7,309	-

(5)有価証券及び投資有価証券	32,071	32,071	-
その他有価証券	32,071	32,071	-
(6)関係会社株式	3,064	180,880	177,816
資産計	112,127	289,944	177,816
(7)未払金	11,855	11,855	-
未払収益分配金	1	1	-
未払償還金	31	31	-
未払手数料	4,537	4,537	-
その他未払金	7,284	7,284	-
(8)未払費用	8,872	8,872	-
(9)未払法人税等	1,838	1,838	-
負債計	22,566	22,566	-

注1：金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項

(1) 現金・預金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 金銭の信託

信託財産は、主として投資信託、デリバティブ取引、その他の資産（コールローン・委託証拠金等）で構成されております。これらの時価について投資信託については基準価額、デリバティブ取引に関しては、上場デリバティブ取引は取引所の価格、為替予約取引は先物為替相場、店頭デリバティブ取引は取引先金融機関から提示された価格等によっております。また、その他の資産については短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3)未収委託者報酬、(4)未収運用受託報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(5) 有価証券及び投資有価証券

 その他有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格によっております。また、譲渡性預金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

また、保有目的ごとの有価証券に関する注記事項については、「有価証券関係」注記を参照ください。

(6) 関係会社株式

取引所の価格によっております。

(7) 未払金、(8) 未払費用、(9) 未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

注2：非上場株式等（貸借対照表計上額：投資有価証券1,245百万円、関係会社株式7,894百万円）は、市場価

格がなく、かつ将来キャッシュフローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「有価証券及び投資有価証券」には含めておりません。

注3：金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：百万円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
預金	208	-	-	-
金銭の信託	55,341	-	-	-
未収委託者報酬	14,131	-	-	-
未収運用受託報酬	7,309	-	-	-
有価証券	24,100	-	-	-
合計	101,091	-	-	-

有価証券関係

前事業年度（自平成26年4月1日 至平成27年3月31日）

1．売買目的有価証券(平成27年3月31日)

該当事項はありません。

2．満期保有目的の債券(平成27年3月31日)

該当事項はありません。

3．子会社株式及び関連会社株式(平成27年3月31日)

区分	貸借対照表 計上額 (百万円)	時価 (百万円)	差額 (百万円)
関連会社株式	3,064	196,109	193,045
合計	3,064	196,109	193,045

4．その他有価証券(平成27年3月31日)

区分	貸借対照表 計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
株式	10,298	282	10,015
小計	10,298	282	10,015
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
譲渡性預金	17,100	17,100	-

小計	17,100	17,100	-
合計	27,398	17,382	10,015

5．事業年度中に売却したその他有価証券（自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）

区分	売却額(百万円)	売却益の合計額(百万円)	売却損の合計額(百万円)
株式	800	790	-
合計	800	790	-

（注）投資信託の「売却額」及び「売却損の合計額」は償還によるものであります。

当事業年度（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）

1．売買目的有価証券(平成28年3月31日)

該当事項はありません。

2．満期保有目的の債券(平成28年3月31日)

該当事項はありません。

3．子会社株式及び関連会社株式(平成28年3月31日)

区分	貸借対照表 計上額 (百万円)	時価 (百万円)	差額 (百万円)
関連会社株式	3,064	180,880	177,816
合計	3,064	180,880	177,816

4．その他有価証券(平成28年3月31日)

区分	貸借対照表 計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
株式	7,971	282	7,688
小計	7,971	282	7,688
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
譲渡性預金	24,100	24,100	-
小計	24,100	24,100	-
合計	32,071	24,382	7,688

5．事業年度中に売却したその他有価証券（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）

区分	売却額(百万円)	売却益の合計額(百万円)	売却損の合計額(百万円)
株式	135	-	95
合計	135	-	95

退職給付関係

前事業年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	
1. 採用している退職給付制度の概要	
当社は、確定給付型の制度として確定給付型企业年金制度及び退職一時金制度を、また確定拠出型の制度として確定拠出年金制度を設けております。	
2. 確定給付制度	
(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表	
退職給付債務の期首残高	15,680 百万円
会計方針の変更による累積的影響額	127
会計方針の変更を反映した期首残高	15,808
勤務費用	746
利息費用	213
数理計算上の差異の発生額	1,128
退職給付の支払額	724
その他	46
退職給付債務の期末残高	17,218
(2) 年金資産の期首残高と期末残高の調整表	
年金資産の期首残高	14,786 百万円
期待運用収益	369
数理計算上の差異の発生額	975
事業主からの拠出額	558
退職給付の支払額	573
年金資産の期末残高	16,117
(3) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表	
積立型制度の退職給付債務	14,474 百万円
年金資産	16,117
	1,643
非積立型制度の退職給付債務	2,743
未積立退職給付債務	1,100
未認識数理計算上の差異	1,861
未認識過去勤務費用	451
貸借対照表上に計上された負債と資産の純額	309
退職給付引当金	2,467
前払年金費用	2,776
貸借対照表上に計上された負債と資産の純額	309
(4) 退職給付費用及びその内訳項目の金額	
勤務費用	746 百万円
利息費用	213
期待運用収益	369
数理計算上の差異の費用処理額	24
過去勤務費用の費用処理額	40
その他	24
確定給付制度に係る退職給付費用	550

(5) 年金資産に関する事項

年金資産の主な内容

年金資産合計に対する主な分類毎の比率は、次の通りです。

債券	31%
株式	13%
受益証券等	29%
生保一般勘定	21%
その他	6%
合計	100%

長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

(6) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎

確定給付型企業年金制度の割引率	1.1%
退職一時金制度の割引率	0.8%
長期期待運用収益率	2.5%

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、172百万円でした。

当事業年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として確定給付型企業年金制度及び退職一時金制度を、また確定拠出型の制度として確定拠出年金制度を設けております。

2. 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

退職給付債務の期首残高	17,218 百万円
勤務費用	811
利息費用	181
数理計算上の差異の発生額	1,150
退職給付の支払額	654
その他	13
退職給付債務の期末残高	18,692

(2) 年金資産の期首残高と期末残高の調整表

年金資産の期首残高	16,117 百万円
期待運用収益	402
数理計算上の差異の発生額	711
事業主からの拠出額	511
退職給付の支払額	555
年金資産の期末残高	15,764

(3) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金

及び前払年金費用の調整表

積立型制度の退職給付債務	15,775 百万円
年金資産	15,764
	11
非積立型制度の退職給付債務	2,917
未積立退職給付債務	2,928
未認識数理計算上の差異	3,409
未認識過去勤務費用	411
貸借対照表上に計上された負債と資産の純額	69
退職給付引当金	2,708
前払年金費用	2,777
貸借対照表上に計上された負債と資産の純額	69

(4) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

勤務費用	811 百万円
利息費用	181
期待運用収益	402
数理計算上の差異の費用処理額	314
過去勤務費用の費用処理額	40
確定給付制度に係る退職給付費用	863

(5) 年金資産に関する事項

年金資産の主な内容

年金資産合計に対する主な分類毎の比率は、次の通りです。

債券	43%
株式	43%
生保一般勘定	13%
その他	1%
合計	100%

長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

(6) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎

確定給付型企业年金制度の割引率	0.7%
退職一時金制度の割引率	0.5%
長期期待運用収益率	2.5%

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、191百万円でした。

税効果会計関係

前事業年度末 (平成27年3月31日)	当事業年度末 (平成28年3月31日)
------------------------	------------------------

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳		1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳	
繰延税金資産	百万円	繰延税金資産	百万円
関係会社株式評価減	1,784	関係会社株式評価減	1,676
賞与引当金	1,504	賞与引当金	1,490
退職給付引当金	789	退職給付引当金	839
所有株式税務簿価通算差異	690	所有株式税務簿価通算差異	669
投資有価証券評価減	475	投資有価証券評価減	460
未払事業税	387	未払事業税	350
ゴルフ会員権評価減	296	ゴルフ会員権評価減	240
減価償却超過額	186	減価償却超過額	177
時効後支払損引当金	166	時効後支払損引当金	163
子会社株式売却損	153	子会社株式売却損	148
関連会社株式譲渡益	169	関連会社株式譲渡益	120
未払社会保険料	92	未払社会保険料	89
外国税支払損失引当金	567	外国税支払損失引当金	-
その他	214	その他	251
繰延税金資産小計	7,479	繰延税金資産小計	6,678
評価性引当額	1,500	評価性引当額	1,453
繰延税金資産合計	5,979	繰延税金資産合計	5,224
繰延税金負債		繰延税金負債	
その他有価証券評価差額金	3,243	その他有価証券評価差額金	2,403
前払年金費用	888	前払年金費用	861
繰延税金負債合計	4,132	繰延税金負債合計	3,264
繰延税金負債の純額	1,847	繰延税金資産の純額	1,959
2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳		2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳	
法定実効税率	36.0%	法定実効税率	33.0%
(調整)		(調整)	
交際費等永久に損金に算入されない項目	0.2%	交際費等永久に損金に算入されない項目	0.2%
受取配当金等永久に益金に算入されない項目	6.0%	受取配当金等永久に益金に算入されない項目	6.2%
住民税等均等割	0.0%	住民税等均等割	0.0%
タックスヘイブン税制	1.2%	タックスヘイブン税制	0.8%
外国税額控除	0.2%	外国税額控除	0.2%
外国子会社からの受取配当に係る外国源泉税	-%	外国子会社からの受取配当に係る外国源泉税	0.7%
税率変更による期末繰延税金資産の減額修正	1.8%	税率変更による期末繰延税金資産の減額修正	0.4%
評価性引当額	7.3%	評価性引当額	0.0%
その他	2.8%	その他	0.4%
税効果会計適用後の法人税等の負担率	22.9%	税効果会計適用後の法人税等の負担率	29.1%
3. 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正		3. 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正	
「所得税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第9号)が平成27年3月31日に公布され、平成27年4月1日以降に開始する事業年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の36%から、平成27年4月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については33%に、平成28年4月1日に開始する前事業年度以降に解消が見込まれる一時差異については、32%となります。		「所得税法等の一部を改正する法律」(平成28年法律第15号)及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」(平成28年法律13号)が平成28年3月29日に成立し、平成28年4月1日以後に開始する事業年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の32%から31%となります。	
この税率変更により、繰延税金資産の純額は73百万円減少し、法人税等調整額が479百万円、その他有価証券評価差額金が405百万円、それぞれ増加しております。		この税率変更による財務諸表に与える影響は軽微であります。	

企業結合等関係

1. 会社分割について

当社は、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社(以下「NFR&T」)との、平成27年2月18日付吸収分割契約に基づき、NFR&Tの機関投資家顧問事業及びリテール運用関連事業を会社分割により承継いたしました。

(1) 企業結合の概要

会社分割の目的

本件会社分割により、当社は、NFR&Tが行ってきた投資信託の運用・管理に係る事務および機関投資家向けの顧問関連事業をNFR&Tから承継し、野村グループのアセット・マネジメント部門内における営業、運用、管理業務を集約します。ファンドおよび運用会社の分析・評価業務は、NFR&Tが集約して行います。これらの再編により、運用オペレーションの効率化と堅牢性の向上を図り、顧客に対する質の高いサービスの提供が可能となります。また、再編後の当社及びNFR&T両社は、それぞれの専門性を発揮することにより、品質の高い運用商品の提供を行い、投資家の多様なニーズに応えられると判断いたしました。

会社分割日程

吸収分割契約締結日	平成27年 2月 18日
機関投資家顧問事業の吸収分割効力発生日	平成27年 7月 1日
リテール運用関連事業の吸収分割効力発生日	平成27年 10月 1日

会社分割の方法

当社を分割承継会社とし、NFR&Tを分割会社とする無対価による吸収分割方式であります。

(2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

2. 吸収合併について

当社は、野村プライベート・エクイティ・キャピタル株式会社(以下「NPEC」)との、平成27年2月18日付吸収合併契約に基づき、NPECを吸収合併いたしました。

(1) 企業結合の概要

吸収合併の目的

運用オペレーションの効率化と堅牢性の向上を図り、顧客に対する質の高いサービスの提供を可能とするためであります。

吸収合併日程

吸収合併契約締結日	平成27年 2月 18日
吸収合併効力発生日	平成27年 12月 1日

吸収合併の方法

当社を吸収合併存続会社とし、NPECを吸収合併消滅会社とする無対価による吸収合併方式であります。

(2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

セグメント情報等

前事業年度(自 平成26年 4月 1日 至 平成27年 3月31日)

1. セグメント情報

当社は投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 関連情報

(1) 製品・サービスごとの情報

当社の製品・サービス区分の決定方法は、損益計算書の営業収益の区分と同一であることから、製

品・サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

（２）地域ごとの情報

売上高

本邦の外部顧客からの営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

（３）主要な顧客ごとの情報

外部顧客からの営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、主要な顧客ごとの営業収益の記載を省略しております。

当事業年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

1. セグメント情報

当社は投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 関連情報

（１）製品・サービスごとの情報

当社の製品・サービス区分の決定方法は、損益計算書の営業収益の区分と同一であることから、製品・サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

（２）地域ごとの情報

売上高

本邦の外部顧客からの営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

（３）主要な顧客ごとの情報

外部顧客からの営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、主要な顧客ごとの営業収益の記載を省略しております。

関連当事者情報

前事業年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

1. 関連当事者との取引

（ア）親会社及び法人主要株主等

該当はありません。

（イ）子会社等

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)

関連会社	株式会社野村総合研究所	東京都千代田区	18,600 (百万円)	情報サービス業	(所有)直接 21.4%	サービス・製品の購入	自社利用のソフトウェア開発の委託等(*1)	3,990	未払費用	547
------	-------------	---------	-----------------	---------	-----------------	------------	-----------------------	-------	------	-----

(ウ) 兄弟会社等

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
親会社の 子会社	野村証券株式会社	東京都中央区	10,000 (百万円)	証券業		当社投資信託の募集の取扱及び売上の取扱ならびに投資信託に係る事務代行の委託等 役員の兼任	投資信託に係る事務代行手数料の支払(*2)	39,273	未払手数料	4,182
親会社の 子会社	野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社	東京都中央区	400 (百万円)	投資顧問業		当社投資信託の運用委託	投資信託の運用に係る投資顧問料の支払(*3)	1,976	未払費用	815

(エ) 役員及び個人主要株主等

該当はありません。

(注) 1. 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(*1) ソフトウェア開発については、調査・研究に要する費用や開発工数等を勘案し、総合的に決定しております。

(*2) 投資信託に係る事務代行手数料については、商品性等を勘案し総合的に決定しております。

(*3) 投資信託の運用に係る投資顧問料については、一般取引条件と同様に決定しております。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

野村ホールディングス㈱(東京証券取引所、名古屋証券取引所、シンガポール証券取引所、ニューヨーク証券取引所に上場)

(2) 重要な関連会社の要約財務諸表

当事業年度において、重要な関連会社は㈱野村総合研究所であり、その要約財務諸表は以下のとおりであります。

(百万円)

㈱野村総合研究所

流動資産合計 229,418

固定資産合計 273,220

流動負債合計 87,832

固定負債合計 65,965

純資産合計	348,841
売上高	358,952
税引前当期純利益	51,509
当期純利益	34,167

当事業年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

1. 関連当事者との取引

(ア) 親会社及び法人主要株主等

該当はありません。

(イ) 子会社等

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
関連会社	株式会社野村総合研究所	東京都千代田区	18,600 (百万円)	情報サービス業	(所有)直接20.8%	サービス・製品の購入	自社利用のソフトウェア開発の委託等(*1)	5,058	未払費用	279

(ウ) 兄弟会社等

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
親会社の子会社	野村証券株式会社	東京都中央区	10,000 (百万円)	証券業		当社投資信託の募集の取扱及び売上の取扱ならびに投資信託に係る事務代行の委託等 役員の兼任	投資信託に係る事務代行手数料の支払(*2)	39,084	未払手数料	3,865
親会社の子会社	野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社	東京都中央区	400 (百万円)	投資顧問業		当社投資信託の運用委託	投資信託の運用に係る投資顧問料の支払(*3)	2,412	未払費用	669

(エ) 役員及び個人主要株主等

該当はありません。

(注) 1. 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(*1) ソフトウェア開発については、調査・研究に要する費用や開発工数等を勘案し、総合的に決定しております。

(*2) 投資信託に係る事務代行手数料については、商品性等を勘案し総合的に決定しております。

(*3) 投資信託の運用に係る投資顧問料については、一般取引条件と同様に決定しております。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

野村ホールディングス(株)(東京証券取引所、名古屋証券取引所、シンガポール証券取引所、
ニューヨーク証券取引所に上場)

(2) 重要な関連会社の要約財務諸表

当事業年度において、重要な関連会社は(株)野村総合研究所であり、その要約財務諸表は以下の
とおりであります。

	(百万円)
(株)野村総合研究所	
流動資産合計	239,155
固定資産合計	324,634
流動負債合計	122,933
固定負債合計	55,456
純資産合計	385,400
売上高	352,003
税引前当期純利益	56,508
当期純利益	40,179

1株当たり情報

前事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)		当事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	
1株当たり純資産額	18,829円58銭	1株当たり純資産額	20,377円23銭
1株当たり当期純利益	3,876円72銭	1株当たり当期純利益	4,977円07銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	
1株当たり当期純利益の算定上の基礎		1株当たり当期純利益の算定上の基礎	
損益計算書上の当期純利益	19,967百万円	損益計算書上の当期純利益	25,635百万円
普通株式に係る当期純利益	19,967百万円	普通株式に係る当期純利益	25,635百万円
普通株主に帰属しない金額の主要な内訳 該当事項はありません。		普通株主に帰属しない金額の主要な内訳 該当事項はありません。	
普通株式の期中平均株式数	5,150,693株	普通株式の期中平均株式数	5,150,693株

第2【その他の関係法人の概況】

1 名称、資本金の額及び事業の内容

< 更新後 >

(1) 受託者

(a)名称	(b)資本金の額 [*]	(c)事業の内容
三井住友信託銀行株式会社 (再信託受託者：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)	342,037百万円	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律(兼営法)に基づき信託業務を営んでいます。

* 平成28年5月末現在

(2) 販売会社

(a)名称	(b)資本金の額 [*]	(c)事業の内容
野村證券株式会社	10,000百万円	「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
池田泉州TT証券株式会社	1,250百万円	
いちよし証券株式会社	14,577百万円	
エース証券株式会社	8,831百万円	
マネックス証券株式会社	12,200百万円	
極東証券株式会社	5,251百万円	
寿証券株式会社	305百万円	
リーディング証券株式会社	1,768百万円	
高木証券株式会社	11,069百万円	
ちばぎん証券株式会社	4,374百万円	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 ¹	40,500百万円	
東海東京証券株式会社	6,000百万円	
内藤証券株式会社	3,002百万円	
浜銀TT証券株式会社	3,307百万円	
百五証券株式会社	3,000百万円	
株式会社証券ジャパン ¹	3,000百万円	
S M B C フレンド証券株式会社	27,270百万円	
株式会社SBI証券	47,937百万円	
楽天証券株式会社	7,495百万円	
株式会社 北海道銀行	93,524百万円	
株式会社 秋田銀行	14,100百万円	
株式会社 北都銀行	12,500百万円	
株式会社 武蔵野銀行	45,743百万円	
株式会社 八十二銀行	52,243百万円	
株式会社 大垣共立銀行	36,166百万円	
株式会社 十六銀行	36,839百万円	

株式会社 百五銀行	20,000百万円
株式会社 滋賀銀行	33,076百万円
株式会社 京都銀行	42,103百万円
株式会社 但馬銀行	5,481百万円
株式会社 鳥取銀行	9,061百万円
株式会社 福岡銀行 ¹	82,329百万円
株式会社 琉球銀行	54,127百万円
株式会社 大光銀行	10,000百万円
株式会社 富山第一銀行	10,182百万円
株式会社 愛知銀行 ¹	18,000百万円
株式会社 関西アーバン銀行 ¹	47,039百万円
株式会社 西日本シティ銀行 ¹	85,745百万円
株式会社 熊本銀行	33,847百万円
株式会社 豊和銀行	12,400百万円
スルガ銀行株式会社	30,043百万円
株式会社 鹿児島銀行	18,130百万円

* 平成28年5月末現在

- 1 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、株式会社証券ジャパン、株式会社 福岡銀行、株式会社 西日本シティ銀行、株式会社 関西アーバン銀行および株式会社 愛知銀行は、新規の募集・販売は行ないません。

(3) 投資顧問会社

(a)名称	(b)資本金の額 [*]	(c)事業の内容
NOMURA ASSET MANAGEMENT U.K. LIMITED (ノムラ・アセット・マネジメント U.K. リミテッド)	4,744,391	英国の1986年金融サービス業法に基づき英国金融サービス庁に登録された当該法律の定める範囲内で行う投資顧問業およびそれに付随する一切の業務を営んでいます。
NOMURA ASSET MANAGEMENT U.S.A. INC. (ノムラ・アセット・マネジメント U.S.A. インク)	US\$37,934,529	米国の1940年投資顧問法に基づき合衆国証券取引委員会(SEC)に登録された当該法律の定める範囲内で行う投資顧問業およびそれに付随する一切の業務を営んでいます。

* 平成28年3月末現在

独立監査人の監査報告書

平成28年7月7日

野村アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 岩部 俊夫
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 森重 俊寛
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているグローバル・バリュー・オープンの平成27年12月1日から平成28年5月30日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、グローバル・バリュー・オープンの平成28年5月30日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成28年6月6日

野村アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岩部俊夫指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森重俊寛指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 櫻井雄一郎

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている野村アセットマネジメント株式会社の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの第57期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村アセットマネジメント株式会社の平成28年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。